

# 転入超過数 2年ぶり増

## 県内、昨年川崎・相模原けん引

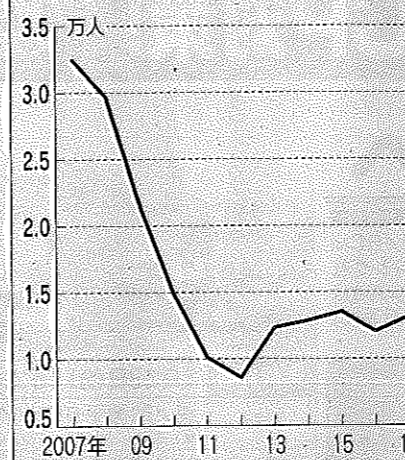
総務省が29日発表した住民基本台帳に基づく2017年の日本人の人口移動報告によると、神奈川県は1万3155人の転入超過だった。超過数は前年比で1000人以上増え、2年ぶりに前年を上回った。川崎は中心部以外でも転入が進み、相模原市も大型マンションの建設などで人口が流入。県内38市町村のうち転入超過は18自治体となり、前年より2自治体で増えた。

## 人口移動報告

転入超過数の多い県内自治体	
1 川崎市	7,502人
2 藤沢市	1,849
3 茅ヶ崎市	987
4 相模原市	935
5 大和市	839
6 平塚市	745
7 鎌倉市	744
8 横浜市	729
9 海老名市	522
10 座間市	358

県内への転入者は前年41人で、転出者は0.1・3%増の20万798人で、転出者は0.8%増の19万4786人。

県内の転入超は1万人台で推移



人。転入・転出とも都道府県別で東京都に次いで府県別で東京都に次いで2番目に多かった。県内で転入超過数が最も多かったのは川崎市の7502人。溝の口の駅などがある高津区への転入が目立った。16年は約2000人の転出超過だったのが、17年は約4000人の転入超過に転じた。区内ある南区がけん引役を果

たした。同駅周辺に建設した野村不動産の分譲マンション(300戸超)が17年末に入居開始になったことなどが寄与した。市内では今後、JR橋本駅周辺でのリニア中央新幹線の建設に伴う再開発なども人口増の呼び水になる可能性がある。市(市企画政策課)は、1849人の転入超過だった藤沢市は「保育所での児童受け入れ体制や女性好みの大型商業施設など、住みやすさを理由に近隣自治体からの流入が増えている」と指摘する。一方、横浜市は転入超過数が729人で16年に比べ2000人以上減少した。転入超過数は4年連続で減り09年の約10分の1になった。特に青葉区や都筑区、保土ヶ谷区など住宅地で転出が目立つ。浜銀総合研究所の湯口勉・産業調査室長は、県内政令指定都市では住宅の取得しやすさなどで横浜の「一人負け」の傾向が強まりつつあり、県内の他の市町村への人口移動



相模原市も人口流入が目立った(相模大野駅)

## ジョイナステラス二俣川

相鉄グループは4月下旬に開業する予定の商業施設「ジョイナステラス二俣川」(横浜市)の全テナントを決めた。豊富な品ぞろえで、周辺の住民や在勤者らの取り込みを目指す。同施設は相模原市二俣川駅に直結しており、「駅と街の結びつきを強化した施設を目指す」と(同グループ)と

## 施工業者図面見やすく

### 介護用のリフォーム

住居リフォームのユニバーサル分野で事業拡大をバールスペース(横浜)は「新たなシステムは「介護リフォーム本舗」に加盟して同社のサーバーにアクセスすると、施工案の図面や見積もりなどの情報を閲覧できる。加盟店には市町村への助成金の申請方法や、顧客を担当するケアマネジャーの情報を閲覧できる。加盟店には市町村への助成金の申請方法や、顧客を担当するケアマネジャーの情報を閲覧できる。

介護リフォーム現場の情報共有は現在、Facebookなどでのやり取りが多い。このため、顧客ニーズに迅速・柔軟に対応できないなどの課題を抱えていた。住居向けの介護リフォームは政府の高齢者自立支援策の拡充方針などを受け、「需要が拡大傾向」と(同社)という。また、手すりの設置や段差の解消など小規模工事が多いため、大手事業者の本格的な参入や効率的な施工方法の確立が進んでいない。

## 収容規模1000人のホール

### 来月開設 高島屋、横浜駅西口に

高島屋は2月1日、J R横浜駅西口に1000人規模を収容できるイベントホール「横浜駅西口ホール」を開業する。横浜

## 日本遺産PR 「逸見エモン」



逸見エモンは逸見波止場衛門をモチーフにしたキャラクター

市にはビジネスや学術関連の施設などが集まっており、こうした団体などの利用ニーズを取り込んでいく考えだ。収容可能人数500人以上のホールを1・2階に1室ずつ設ける。1階のホールは1200平方メートル、2階は1300平方メートルで、3分割して利用することもできる。企業の展示販売会や式典、会社説明会などのほかに、国際会議校説明会などを想定して新たな本所から徒歩10分以内の場所。上層階は、国際会議校説明会などを想定して新たな本所から徒歩10分以内の場所。上層階は、国際会議校説明会などを想定して新たな本所から徒歩10分以内の場所。

## 噴火へ備え 首都圏でも

### マスク備蓄など降灰対策



首都圏自治体の主な噴火対策	
埼玉県鶴ヶ島市	埼玉県の地域防災計画を踏まえた火山対策を策定
埼玉県八潮市	降灰も想定して防じんマスクを備蓄
東京都千代田区	富士山噴火に伴う降灰の仮置き場予定地を外濠公園に指定
東京都町田市	富士山噴火時の組織体制を整備
横浜市	火山噴火時のインフラの応急対応や学校の対応などを整理

火山の噴火による降灰などに備え、対策を取る自治体が首都圏でも出ている。埼玉県八潮市は防じんマスクを備蓄し、東京都千代田区は収集した灰の仮置き場予定地を定めた。今回の草津白根山の噴火は、火山が想定外の場所から噴火する可能性があることを示した。降灰による都市機能低下などへの懸念もあり、火山に面していない都市部でも対策が求められる。八潮市は火山の降灰などを想定し、職員や自治体防災組織関係者向けの防じんマスク約2万枚を備蓄している。千代田区は地域防災計画で富士山

## 都市機能の維持に向け

で、情報発信や灰の処理など取り組み方針を定めている。日本経済新聞が2017年秋に全国814市区のトップを対象に行ったアンケート調査で、火山噴火に備えた避難計画などを作成済みまたは作成中は59市区だった。大阪府内や愛知県内の市は火山がないなどとして、作成はゼロだった。地震や風水害などに比べ発生頻度が低い火山災害に、どこまで備えるべきか自治体には迷いがある。横浜市の担当者は「限られた予算の中で、地震など切迫性の高い災害が優先される」とする。

## 三越銀座店 「靴磨き選手権」優勝者ら実演

三越銀座店(東京・中央区)は「靴磨き日本選手権大会」の優勝者らによるエキシビジョンを開催した。靴磨き職人が特設会場来店者に有料の靴磨きサービスを提供し、20・50歳代の男性の関心を集め、開店と同時に行列ができる人気ぶりだった。

## 神奈川

横浜支局 0445-2201-75531  
川崎支局 0445-2202-77931